

# Cisco Duo Self-Service Portalのコマンドインジェクションの脆弱性



アドバイザリーID : cisco-sa-duo-ssp-cmd- [CVE-2025-](#)

inj-RCmYrNA

[20258](#)

初公開日 : 2025-05-21 16:00

バージョン 1.0 : Final

CVSSスコア : [5.4](#)

回避策 : No workarounds available

Cisco バグ ID : [CSCwo67628](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco Duoのセルフサービスポータル脆弱性により、認証されていないリモートの攻撃者が、サービスによって送信される電子メールに任意のコマンドを挿入する可能性があります。

この脆弱性は、不十分な入力検証に起因します。攻撃者は、サービスによって送信される電子メールの一部に任意のコマンドを挿入することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者は、悪意のあるコンテンツを含む電子メールを無防備なユーザに送信できる可能性があります。

Cisco Duoはサービスにおけるこの脆弱性に対処しており、オンプレミスのソフトウェアやデバイスを更新するためにお客様が何らかのアクションを行う必要はありません。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザリーは、次のリンクより確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-duo-ssp-cmd-inj-RCmYrNA>

## 該当製品

### 脆弱性のある製品

この脆弱性は、クラウドベースのCisco Duoセルフサービスポータルに影響を与えます。

### 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリーの[脆弱性のある製品セクション](#)にリストされている製品だけがこの脆弱性の

影響を受けることが知られています。

## 回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

## 修正済みソフトウェア

シスコは、クラウドベースのCisco Duoセルフサービスポータルでこの脆弱性に対処しています。ユーザの対処は必要ありません。

その他の情報が必要な場合は、Cisco Technical Assistance Center ( TAC ) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

## 不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team ( PSIRT ) は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

## 出典

シスコは、この脆弱性を報告していただいたJelison Fernandes(code\_13x)氏に感謝いたします。

## URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-duo-ssp-cmd-inj-RCmYrNA>

## 改訂履歴

| バージョン | 説明       | セクション | ステータス | 日付         |
|-------|----------|-------|-------|------------|
| 1.0   | 初回公開リリース | —     | Final | 2025年5月21日 |

## 利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。